

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾雅司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統轄室長 (氏名) 十亀 猛

TEL 03-6721-6988

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	8,130	0.9	1,267	△3.3	1,217	△5.7	772	△2.1
26年3月期第3四半期	8,056	13.9	1,310	46.7	1,291	44.4	789	39.9

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 856百万円 (6.3%) 26年3月期第3四半期 805百万円 (43.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	65.64	—
26年3月期第3四半期	67.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	14,729	10,549	71.6	896.11
26年3月期	14,472	9,928	68.6	843.36

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 10,549百万円 26年3月期 9,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	20.00	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	1.9	1,820	5.9	1,800	5.3	1,150	9.8	97.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) イハラパイピングサービス株式会社
(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	14,000,000 株	26年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	2,227,536 株	26年3月期	2,227,516 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	11,772,470 株	26年3月期3Q	11,681,312 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結決算財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では企業業績や雇用改善が進み堅調に推移する一方、中国や新興諸国では成長の鈍化、欧州経済における回復基調の後退など、先行きの不透明感が継続しました。わが国では、円安に伴う原材料の価格上昇など不安要素はあるものの、公共投資などの景気対策や堅調な企業業績が下支えとなり、景気は緩やかな回復傾向が持続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、お客様の信頼と期待を獲得するため、社員一人一人が自分の責任を果たし、品質、スピード、実行にこだわり、グローバルな競争の中で、さまざまなお客様の問題を解決し、お客様からありがとうと感謝される体制作りを進めてまいります。

販売面では、当社グループの主な市場である工作機械、産業機械、建設機械市場におきましては、国内需要が堅調に推移しており、前年同期の売上高をやや上回る結果となりました。一方、半導体、液晶製造装置関連市場におきましては、低迷しておりました市況が第3四半期から回復傾向にあります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は81億30百万円（前年同期比0.9%増）となり、営業利益は12億67百万円（同3.3%減）、経常利益は12億17百万円（同5.7%減）、四半期純利益は7億72百万円（同2.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

(静岡事業所)

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が落ちたため、売上高は13億81百万円（前年同期比14.7%減）、セグメント利益は2億44百万円（同42.4%減）となりました。

(岐阜事業所)

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しており、重点市場である建設機械・工作機械市場向けは、需要が堅調に推移しており、売上高は32億85百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は12億48百万円（同4.6%減）となりました。

(山形事業所)

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しており、第3四半期から需要が回復傾向にありますが、売上高は25億47百万円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益は8億7百万円（同3.0%減）となりました。

(IPEC岐阜事業所)

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、需要が堅調に推移しており、売上高は9億60百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は1億87百万円（同0.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億56百万円増加し、147億29百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が2億63百万円増加したこと、投資有価証券が5億91百万円増加した反面、現金及び預金が4億74百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億64百万円減少し、41億80百万円となりました。これは、主に未払法人税等が2億14百万円減少したこと、長期借入金が2億61百万円減少したこと、賞与引当金が62百万円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億20百万円増加し、105億49百万円となりました。これは、四半期純利益7億72百万円と配当金支払い2億35百万円により、利益剰余金が5億37百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が68百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月7日に公表した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったイハラパイピングサービス株式会社は、平成26年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により解散しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,717	3,243
受取手形及び売掛金	3,428	3,691
商品及び製品	348	327
仕掛品	393	347
原材料及び貯蔵品	718	812
繰延税金資産	82	93
その他	215	149
流動資産合計	8,905	8,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,501	1,454
機械装置及び運搬具（純額）	496	481
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	113	97
その他（純額）	44	38
有形固定資産合計	3,577	3,492
無形固定資産	108	107
投資その他の資産		
投資有価証券	1,290	1,882
長期貸付金	2	1
生命保険積立金	62	67
繰延税金資産	485	472
その他	42	41
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,881	2,464
固定資産合計	5,567	6,064
資産合計	14,472	14,729

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	453	541
1年内償還予定の社債	50	—
短期借入金	363	381
未払金	390	224
未払法人税等	413	198
賞与引当金	—	62
役員賞与引当金	22	—
その他	130	237
流動負債合計	1,821	1,646
固定負債		
長期借入金	893	632
退職給付に係る負債	1,423	1,489
役員退職慰労引当金	185	189
資産除去債務	54	54
長期預り保証金	166	168
固定負債合計	2,722	2,534
負債合計	4,544	4,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	9,384	9,921
自己株式	△1,674	△1,674
株主資本合計	9,892	10,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	74
為替換算調整勘定	30	45
その他の包括利益累計額合計	36	119
純資産合計	9,928	10,549
負債純資産合計	14,472	14,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	8,056	8,130
売上原価	5,497	5,622
売上総利益	2,559	2,508
販売費及び一般管理費	1,248	1,241
営業利益	1,310	1,267
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	12
為替差益	37	45
その他	3	9
営業外収益合計	44	67
営業外費用		
支払利息	12	8
売上債権売却損	7	3
持分法による投資損失	21	66
複合金融商品評価損	16	30
その他	5	8
営業外費用合計	62	117
経常利益	1,291	1,217
税金等調整前四半期純利益	1,291	1,217
法人税、住民税及び事業税	580	480
法人税等調整額	△77	△35
法人税等合計	502	445
少数株主損益調整前四半期純利益	789	772
四半期純利益	789	772

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	789	772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	68
持分法適用会社に対する持分相当額	12	14
その他の包括利益合計	16	83
四半期包括利益	805	856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	805	856

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜 事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,509	2,814	2,461	852	7,638	418	8,056
セグメント間の内部売上 高又は振替高	110	341	133	35	620	4	625
計	1,619	3,156	2,594	887	8,258	422	8,681
セグメント利益	425	1,308	833	186	2,753	99	2,852

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,753
「その他」の区分の利益	99
セグメント間取引消去	△415
全社費用(注)	△1,128
棚卸資産の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	1,310

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜 事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,380	3,216	2,411	960	7,969	160	8,130
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	68	135	—	205	—	205
計	1,381	3,285	2,547	960	8,175	160	8,336
セグメント利益	244	1,248	807	187	2,487	52	2,540

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上、及び不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,487
「その他」の区分の利益	52
セグメント間取引消去	△32
全社費用（注）	△1,211
棚卸資産の調整額	△29
四半期連結損益計算書の営業利益	1,267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。